

白神山地（鮭ヶ沢町）沿岸域における藻場の活性化プロジェクト

プロジェクトの概要

- ◆ 青森県の鮭ヶ沢町漁業組合と合同会社グリーンパワー西津軽洋上が取り組むプロジェクトです。
- ◆ 青森県鮭ヶ沢町の沿岸では、水産資源の保護や海域環境の保全・再生等を目的に県が造成した人工リーフ(潜堤)に海藻が着生しハタハタ等の貴重な産卵場所になっています。また、鮭ヶ沢町漁協によるワカメ養殖が行われ、これにより近隣の防波堤にワカメが自生するようになっています。
- ◆ 鮭ヶ沢町漁協では、これらの藻場を保全するため、付近を禁漁区にするなどして、藻場の維持管理を行ってきました。令和4年度に、これまでの藻場造成に関する取り組みと、白神山地から供給される豊富な栄養をより積極的に活用すべく本プロジェクトを立ち上げました。



白神山地



プロジェクトの特徴・PRポイント

- ◆ 青森県初となるJブルークレジット認証プロジェクトです。
- ◆ プロジェクトでは水産資源の増殖やブルーカーボンの創出による地球環境への貢献を目的に、造成藻場の現況把握および移植活動による造成藻場の活性化、造成藻場の拡大について検討を進めております。
- ◆ 今後、既設の造成藻場において、施肥材の投入等による藻場の増殖活動を行いCO2吸収量の維持・拡大を目指すとともに、藻場によるブルーカーボン効果等を把握するための各種調査等を継続的に実施する予定です。Jブルークレジットの販売収益はこれらの活動に充てていきます。